

薬物治療アップデート講座⑧

# 「臨床製剤の開発と医療の倫理」

※薬学研究科授業「医療倫理」を一般向けに公開します

講師：花輪 剛久（東京理科大学薬学部 教授）

開催  
日時

2022年5月12日(木) 16:30～18:00

Zoomによるオンライン開催(ライブ配信)

受講料：3,000円(定員100名)

申込締切日：5月2日(月)17:00(定員になり次第受付終了)



※日本薬剤師研修センター1単位配付(予定)

【ご注意ください】単位取得には受講前にPECS(薬剤師研修・認定電子システム)への登録が必要です。

※本学教員、在学生は無料で受講できます(要申込)

臨床製剤(院内製剤)はこれまで、調剤の効率化、また、治療上必要とするが市販されていない医薬品を独自に調製し医療機関内で全て使用されてきました。しかし、医療の高度化に伴い、薬物治療も一層複雑化の様相を呈しています。そうした中、京都大学病院の様に治験薬GMPに対応する院内製剤調製に着手する施設も出現し、まさに“製剤学的テーラーメイド医療”が実現しています。それを支えるのはPharmacist-Scientistとしての薬剤師です。本講義では臨床製剤開発にあたり必要となる倫理上の留意点と開発事例についてお話しします。

受講予約  
お問い合わせ

受講希望の方はホームページよりお申し込みください  
東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター(SCCPEP)  
<https://www.tus.ac.jp/sccper/>

申込についてのお問い合わせ先 [sccper@admin.tus.ac.jp](mailto:sccper@admin.tus.ac.jp)